

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 20 日

事務事業名		教育支援委員会運営事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020102000177
						単独/補助	単独	所属課	090801
政策体系	総合計画の施策名		0201 学校教育の充実				課長名		教育指導課
	政策名		02 生きがいを育む学びのまちづくり				グループ		教育指導グループ
	施策名		01 学校教育の充実				担当者名		
	手段名		02 ②教育体制の充実						
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	01	03	01	00	教育指導事業		
法令根拠						学校教育法, 学校教育法施行令, 学校教育法施行規則			
【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)						<input type="checkbox"/> 単年度繰返し (平成17年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

手 段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	障害のある園児・児童生徒への適切な就学指導をするために合併当時から開始された事業で、各地区や学校種等を考慮して構成委員を決定し、教育支援委員会の開催、教育支援委員会各支部会の開催、調査委員会の開催、教育支援準備委員会の開催などの事業を行っている。		教育支援委員会、教育支援委員会各支部会、調査委員会、教育支援準備委員会等の開催、運営を行う。	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
			教育支援委員会の開催	回	2.00	2.00	2.00
教育支援委員会の開催、教育支援委員会各支部会の開催、調査委員会の開催、教育支援準備委員会の開催。	教育支援委員会各支部会の開催	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
	調査委員会の開催	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
園児、児童生徒。	園児、児童生徒数	人	3,042.00	2,963.00	2,963.00	2,963.00	2,963.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
保護者の同意を得ての、特別支援学校への入学及び措置替え、特別支援学級への入級等。	特別支援学校への入学及び措置替え児童生徒数	人	11.00	5.00	5.00	5.00	5.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	期間限定総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	45	55	55
	事業費計 (A)	千円	45	55	55	0
	正規職員従事人数	人	5.00人	5.00人	5.00人	

事業費の内訳	01年度事業費 実績 (千円)		02年度事業費 予算 (千円)	
	01 報酬	45	08 報償費	45
	11 需用費	10	11 需用費	10
	合計	55	合計	55

事務事業名	教育支援委員会運営事業	事務事業No.	20102000177	所属課	教育指導課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 障害のある園児・児童生徒への適切な就学指導をするために合併当時から開始された。また、各地区や学校種等を考慮して構成委員を決定し、充実した審議が行われるようになった。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 障害のある園児・児童生徒への教育補助員の更なる配置についての要望が学校から出されている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 個の教育的ニーズに応じた就学指導をすることは、生き甲斐をはぐくむ教育、学校教育の充実に結び付いている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 客観的目つ専門的な見地から審議し、よりよい就学指導を行うことは市としての責務である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 市の就学指導の仕組みを周知するため年長児の家庭へ便りを配布している。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 法的に位置付けられているので、廃止はできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 他に類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費は学校医及び私立幼稚園・保育園長への報酬のみ。最低限の人件費で実施している。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内の全幼稚園・保育所等、小中学校の園児・児童生徒を対象としているため、不公平ではない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	本事業を通して、個の教育的ニーズに応じたよりよい就学指導が進められた。平成22年度末に作成した教育支援ファイル「さくらサポートファイル」の活用について、周知・活用が進んでいる。活用の仕方については、市教育研究会との連携を図り、更なる充実が図られるようにしたい。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	X			X	X	X
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	X																	
		X	X	X																	
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果	⑦																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>